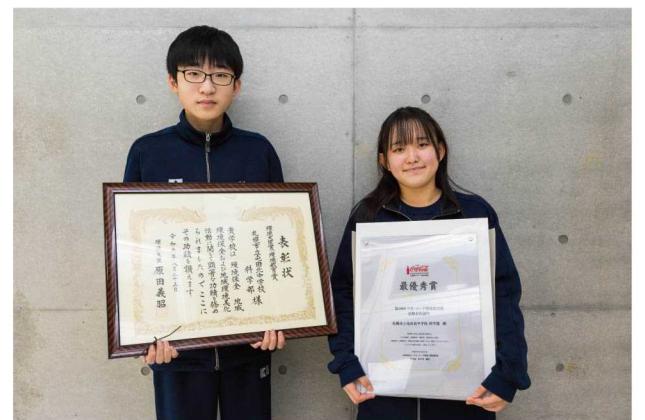


札幌市立屯田北中学校 科学部

CASE.02

Town planning
in North



札幌市立屯田北中学校 科学部

前部長 川井 陽人さん
新部長 倉田 はなさん

私が思う、
北区の魅力・好きな場所

学校周辺の川の中でも、「東屯田川」はエビやライギョなど、多様な生物が生息しているので面白いです。ただ 2021 年の記録的な暑さで、川の水が干上がり、植物が大繁殖しました。川の生態系にも影響が出ているので、自分たちの手で元の姿に戻したいのですが、気軽に川の中に立ち入りができる、今後が気掛かりです。

「3年前まで、この辺りの川ではモクブガニ」がいっぱい捕獲できたんですが、2年前から突然取れなくなつたんです」と、残念そうに話すのは川井陽人さん。

生き物は、水温の影響をすごく受けやすいです。去年の猛暑での生態系の変化は、想像以上でした」と、倉田はなさんは説明します。中野教諭によると、河川の網による生態調査には北海道の許可が必要で、一年に一度、調査を記録した報告書を提出しているそうです。「変化した原因についてみんなで推理したり、データを分析するのも面白いです」と川井さん。

「入部するまでは生物にあまり興味がなかったのですが、自分が住んでいる地域に、さまざまなお生き物がいました」と倉田

さんはほほ笑みます。

コロナ禍では、河川敷でバーベキューをする人が増え、「ゴミの量も増えたと言います。科学部では、周辺の清掃活動も行い、環境の保全にも関心を寄せていま

す。」「温暖化で生態系が劇的に変化している中、川にゴミを捨てるのではなく、川をきれいにする意識を持つてほしいです」と川井さん。



「ただじっと、魚たちを眺める時間も好きです。生き物から元気をもらっています」と倉田さん



在来種が生息できる環境を守るために
川にゴミを捨てるのではなく、
川をきれいにする意識を持ってほしい。

2007年開校の札幌市立屯田北中学校。周辺には創成川、茨戸耕北川、東屯田川の3つの川と屯田地区開拓時から残る防風林があり、自然を感じられる場所にあります。科学部は、その恵まれたロケーションを生かし、河川の水質調査や採取した生物の保護など、自然との触れ合いを重視した活動を行っています。

同部顧問の中野智文教諭は「屯田の自然に触れないが、『今、ここ』でどのような環境の変化が起きているのかを、自分たちの目で確認させたい」と話します。2019年には、防風林の池で見つけた絶滅危惧種のエゾホトケドジョウの保護や、河川の水質・生物調査などの取り組みが評価され、「第26回コカ・コーラ環境教育賞」の活動表彰部門で、最優秀賞と環境大臣賞を受賞しました。近年、市内の中学校的科学部は、減少傾向にある中、同校の部員約50人は、地域の中にいる生物の存在に目を凝らし、生き生きと活動を続けています。